

Title: 迷いながらも一ツ事



池田 篤彦
1984年東京生まれ茨城育ち。
神奈川在住。
自分の写真と音楽に向き合い、「現場」での体感を大切にして、大いに悩みながら作品撮影・制作をします。

撮影地は植民地時代に、ある産業で栄えた街。ゆえに現在の大都市・リゾート・地方の街など様々です。

基本記載日付が出来事の日付です。



(▲2ヶ月経過)



(▲4ヶ月経過)



(▲6ヶ月経過)

● 最近のエントリー

- ☑ 藤枝 (2012.04.30)
- ☑ 5か国目タイ (2012.04.29)
- ☑ カンボジア最終日 (2012.04.28)
- ☑ 新緑の地 (2012.04.27)

● アーカイブ

- ☑ 2012年12月
- ☑ 2012年11月
- ☑ 2012年10月
- ☑ 2012年09月
- ☑ 2012年08月
- ☑ 2012年07月
- ☑ 2012年06月
- ☑ 2012年05月
- ☑ 2012年04月
- ☑ 2012年03月

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

- ☑ [00]日本《プロローグ》
【-03/16】
- ☑ [01]輪廻
【03/17-03/23】
- ☑ [02]台湾
【03/23-03/30】
- ☑ [03]ベトナム
【03/30-04/15】
- ☑ [04]カンボジア
【04/15-04/29】
- ☑ [05]タイ
【04/29-05/15】
- ☑ [06]マレーシア
【05/15-06/04】
- ☑ [06]マレーシアSC1
【05/26-06/04】
- ☑ [07]シンガポール
【06/04-06/10】
- ☑ [07]マレーシア休養
【06/10-06/14】
- ☑ [08]インド
【06/14-07/06】
- ☑ [09]ネパール
【07/06-07/21】
- ☑ [10]中国
【07/21-08/10】
- ☑ [11]マレーシアSC2

迷いながらも一ツ事 > 2012年04月 アーカイブ

12.04.30

魚菜湯

[Tweet](#)

[Check](#)

解散前みんなでご飯をしました。



ホテルからほど近いチャイナタウンへ行きました。行く時間が少し早かったのかまだ人はまばらです。

何品か覗きましたが、メインと言えるのはやはりこれ、▼ふかひれスープです。



▼チャーハンの上にかけて食べると、チャーハンの香ばしい香りとふかひれのだしが合いまあってなんとも美味☆



ふかひれ入れた大盛り4品をみんなで分けて一人300(パーツ)以下(約900円)日本では食べられない価格です。

- [【08/10-08/20】](#)
- [【12】西撮影ベトナム](#)
- [【08/20-08/31】](#)
- [【13】西撮影台湾](#)
- [【08/31-09/08】](#)
- [【14】西集合韓国](#)
- [【09/08-09/13】](#)
- [【15】日本・武生《エピソード》](#)
- [【09/14-09/22】](#)
- [【16】日本《After Story》](#)
- [【09/22】](#)
- [- 撮影](#)
- [- 機材・技術](#)
- [- 移動](#)
- [- 行先](#)
- [- 訪問記](#)
- [- 雑記](#)
- [- 森ハ物写真](#)

●ブックマーク
NRRIA 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



[RSS](#) 2.0

明日は朝から飛行機でフーケットまで移動します。
 いよいよ再びテーマ撮影が始まります。

カテゴリ: [【05】タイ](#)
[【04/29-05/13】](#)
[- 行先](#) [- 森ハ物写真](#)

post by 池田 基彦 | 日時: 2012.04.30 | [ホームリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[新しいながらもーンス](#) > 2012年04月アーカイブ

12.04.29

5カ国目タイ

[Tweet](#)

[Check](#)

写真展を開催し、観光がメインだったカンボジアともお別れです。



さようなら、カンボジア。





そして、あっさりタイ入国です。
と言うのも、例年はタイも陸路入国なのなのですが、今年は撮影期間を延長した結果ビザの関係で空路入国の必要があったため飛行機での移動になりました。
カンボジアに続き、タイもまた暑い。空港からホテルまで添乗して下さったタイ在住23年の日本人ガイドさんのお話ですと、世界の天気予報などでバンコク38℃と言うときには実際は43~45℃あるそうです。その理由は観光客の多い国なのでイメージが与える影響を考えてといった事情からだそうです。実際に歩く街中の気温は50℃にもなるようで、心して掛からないと干物になりそうです。



移動の疲れと寝不足でホテルに寄いた途端に寝てしまいました。
起きたら夕方に...



タイは再び撮影に入ります。撮影場所はブーケット島周辺の課産業の跡を求めて行きます。

カテゴリ: [\[05\]タイ](#)
[\[04/29-05/13\]](#)
・移動

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.04.29 | [バナーリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[誰いながらもーん亭](#) > 2012年04月 アーカイブ

12.04.28

カンボジア最終日

[Tweet](#)

[Check](#)

今日はいよいよカンボジア最終日で、昨日おすすめがあった遺跡を訪ねてきました。

昼過ぎから行動を開始し、初めに行ったのがバンテアイ・スレイです。ホテルからトラックで1時間ほどの場所にあります。







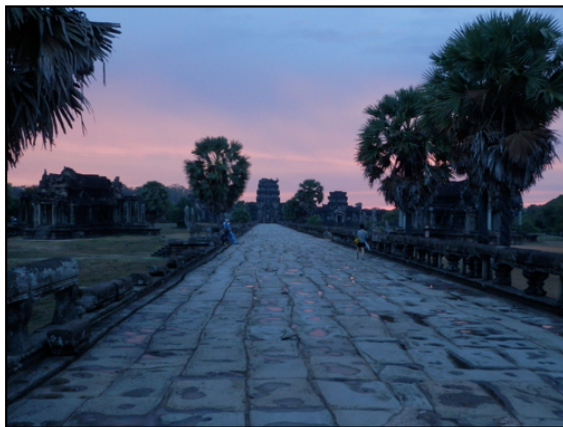
遺跡の大きさそのものはそれほど大きくはありませんが、非常に繊細な彫刻が各所に施されている遺跡です。

次に訪れたのが、バイヨンです。夕方近くになり、次第に曇が出てきて、遺跡訪問中にはっきりとした雨模様となりました。





最後に訪れたのがアンコールワットです。夕日を見ようとこの時間にしたのですが、夕日そのものは赤いにく曇りに隠れてしまいました。それでも、夕空の変化に奮むなんともいえない空を楽しむことが出来ました。





最後にクメール料理を食べ、カンボジアの旅を締めました。
明日は朝からいよいよ5カ国目となるタイへと移動します。

カテゴリ: [\[04\]カンボジア](#)
[\[04/15-04/29\]](#)
・ [訪問記](#) ・ [食べ物写真](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.04.28 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[新しいながらもーん率](#) > 2012年04月アーカイブ

12.04.27

所縁の地

[Tweet](#)

[Check](#)

今日は本校前校長故藤井秀樹先生ゆかりのカンボジアティータイムと言うお店へ行きました。



このお店の社長さんと藤井先生が、生前感念にされていたそうです。ここはカンボジアの伝統菓子「ノム・トム・ムーン」の製造販売をしていて、一階部分でお土産物の売店、二階部分がラウンジになっています。そのラウンジスペースのあちらこちらに藤井先生が撮影された作品が展示されています。

▼ノム・トム・ムーン



▼ノム・トム・ムーンは、カンボジアの伝統菓子で、お土産としても人気があります。

▼フジテレビの番組でも取り上げられて話題が広がっています。



先生が日本のお仕事で撮影された作品のほか、孤児院などで撮影されたカンボジアの子供たちのポートレートが数多く展示されています。写真からは、ライフワークとして先生がカンボジアの子供たちにかけた思いの一端を知ることが出来た気がしました。

▼指定泊ホテルからの眺め



出国から約40日が経過しました。今回の指定泊ホテルに体重計があったので計測したところ出国前より8kg減重していました。残り4か月半、あとどれほど減るのでしょうか。

カンボジアも、丸一日あるのは、明日で最終日です。先生と谷瀬さん一押しのお話を聞いたので、明日行ってみようと思っています。天気が良いといいのですが現時点ではちょっと心配な空模様です。

カテゴリ: [\[04\]カンボジア](#)
[\[04/15-04/29\]](#)

[・行事](#) [・訪問記](#) [・食べ物写真](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.04.27 | [バナーリンク](#) | [コメント \(4\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

遅いながらも一瞬座 > 2012年04月アーカイブ

12.04.26

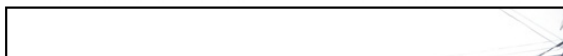
焦がれる

[Tweet](#)

[Check](#)

本当に久しぶりに、日中外を歩いてみました。

焦がれる私・・・ではなくて、それにしてもこの太陽・・・例えではなく、焦げる。





▼こんなとき、ここでも子供は水遊びのようです。お世辞にもきれいとはいえない池ですが・・・。



▼観光客向けの市場風の場所があり、衣料品や土産物が沢山並んでいました。倉庫のような建物の中にいくつもの小売店が入っているようでした。



見ただけで結局買いませんでした。

一時間半ほど歩きまわりましたが、結構な消耗戦合いです。恐るべしカンボジアの太陽。それでも、かなり体力は戻っているようなので、タイに移動する頃にはほぼ心配ない状態になると思います。暑さによる新たな疲労が起きそうですが。

12.04.25

リラックスグッズ

[Tweet](#)

[Check](#)

撮影など、旅の途中では足をよく使います。基本は徒歩移動です。

体重+機材の重みを受けて頑張ってくれている足が一番疲れやす場所の一つです。そんなときに使っているのがコレ。



チンアナゴさんです!!

▼このように足指にはめて使います。癒されます☆



フィールドワーク出前の前日に行った池袋のサッシャイン水族館で見つけました。一緒に行った人は色違いのニシキアナゴさん（黄色系）を使っています。というわけで好みで色を選べます。

このチンアナゴですが水族館にもってその実際の様子は、水底の穴の中から半身を出して水流に流れてくるえさを待ち構えてゆらゆらしています。その姿がまた・・・かわいいんです☆

みなさんも疲れた時には癒されてみては??

カテゴリ: [\[04\]カンボジア](#)
[\[04/15-04/29\]](#)

[・機材・技術](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.04.25 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

12.04.24

久々の日本食

[Tweet](#)

[Check](#)

体調不良仲間長山さんから、ホテル近く(徒歩1分)に日本食屋があるとの情報を入手。痛み上がり2人組、日本食を楽しんできました。

私にとっては久しぶりの日本食でまったり安らいで食べていました。靴を脱いで座布団に座るスタイルのお店も久しぶりな気がします。

▼かぼちゃの煮物、ヒジキの煮物





▼サラダうどん



▼厚焼きだし巻き卵



▼とり南蛮盛揚げ



カンボジアに来てからの食事と言えば油で炒めであるか揚げであるかと言った風な料理が多かったので、さっぱりした食事そのものに肌えていました!!

長山さんは私よりも前の、国移動の頃から体調が悪かったのですが、彼女も日本食をもりもり(笑)食べていました。

お互い、少しずつ少しずついいので、体調を戻せるといいですね。

12.04.23

娑婆の空気は

[Tweet](#)

[Check](#)

安静にして、ホテルにこもって4日。昼間の雑音の揺れを避け夕方になってから近くのスーパーまで歩いてきました。

夕方とはいえ暑いです。痛み「上がりかけ」にはかなりこたえます。体が暑さについていけずくだるだるに。

歩いていて気が付きましたが、ここしばらく朝食を少し食べたばかりは水しか飲んでいなかったで、靴までゆるゆる、スポンもさらにゆるに。そろそろスポンを買わないとだめかもしれません。

体調がもとに戻るにはまだまだ時間がかかりそうな予感です。色々見て回ろうかとも思っていたのですが、腹を据えて、タイの撮影に向けて調子を整えたいと思います。



ホテルにこもって、最近見ているのがNHK。カンボジアではNHKが日本とリアルタイムで映るみたいです。時差が2時間あるのでニュースは5時にやっています。編成はこちら版で総合とEテレが合わさったものになっているようです(リアルタイムですが番組によって切り替え)。スポーツなど放送権の関係で海外放送出来ないものもあるようです。NHK worldという海外向け英語の番組はベトナムでもやっていますが、久しぶりに日本語で日本のニュースが聞けています。

カテゴリ: [\[04\]カンボジア](#)
[\[04/15-04/29\]](#)
[・雑記](#)

12.04.22

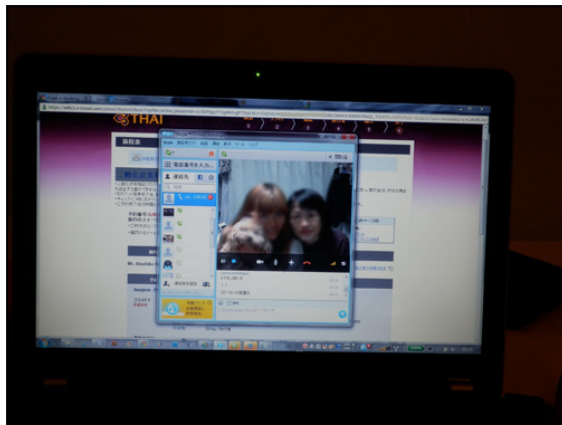
Skypeで通信

[Tweet](#)

[Check](#)

昨日は久しぶりに、一人暮らしをしている一番下の妹が両親の住む家に帰っていたのでSkypeを使って顔を合せました。

出国のしばらく前に会ったきりだったので顔を見るのも久しぶりです。
▼妹(左)と母(※一部画像を加工しています)
配信のための髪がちょっと目立つ色になっています^^;



演劇の学校に通う妹がボイストレーニングのための、私のICレコーダーを貸す約束をしていたのですが、何一つ伝えることをせず勝手にしまったままだったため、Skype上で本体や予備電池の場所、使い方を教えました。やり取りの甲斐あり無事に録音ができたようでした。

4月から専攻科(うちの学校でいうところの研究過程)に進んだためその近況を聞いたり久しぶりに話しました。

レコパに投稿をしました。

5月末に学校で中国へ行き、1週間ほどレッスンと公演してくるそうです。私たちより先に中国入りするわけで、いろいろ新しい刺激を受けてきてもらいたいと思います。

このSkypeですが、いまはご存知の方も多いと思いますが、2005年位から急速に普及した通信手段です。

無料で電話・ビデオ電話が、手軽にできるということから現在ではPC版のみならずiPhoneやAndroidなどのスマートフォンでも使えるようになってきました。通常の電話番号へ発信する場合は(クレジットカード番号登録の上で)料金がかかります。詳細はSkypeホームページをご参照ください。

通常の電話回線を使わず、常時接続のインターネット回線を使って通信を行うため、料金がかりません。

P2P(ピアツーピア)と言う技術が使われている等、ホームページを見るのとは少し違うプロセスで利用者同士を繋いでいますが、技術的な詳細は専門のサイトをご覧ください。

このSkypeはフィールドワークでは、引率との定時連絡や緊急度の低い連絡を行う際にも使用しています。

「フィールドワークのプランニング(海外でのテーマ・企画設定や取材計画を行う)」という2年次に行う授業で、初めに行うのもGメールアドレスの取得とSkype IDの取得です。

自宅でも出国の間際になって両者が使うデスクトップ型のPCにUSB外付けのカメラ・マイクを設置して、Skype ID取得とテストをしてから海外にきました。外付けの物は1,000円から4,000円の幅で各社から出されています。違いは主にカメラの画質ですが、通信状態が悪い場合は嫌でも落として送信されてしまうための私の実感としてはあまりこだわらなくてもよいのかなとも思います。

最近ではノート型のパソコンであれば購入時に標準でついていることも多いですので、その場合にはインターネット上からSkypeのホームページへアクセスし、ソフトウェアをダウンロードの上、指示に従って設定して行けばすぐに利用できる状態になります。

▼ノートPC付属のカメラとマイク(大きさそれぞれ1~2mm程度)



今回は連絡手段の一つについてお伝えしました。

フィールドワークで私が行っている機材や荷物、安全対策を今後もご紹介していこうと思います。

あくまで「私が」やっていることですのでご参考にならないことも多々あるかと思いますが、何かのお役にたてれば幸いです。

※PC版のブログからは、カテゴリー一覧もしくは「下のカテゴリリンクからこれまでのエントリーも含めてまとめてご覧いただけます。

カテゴリ: [\[04\]カンボジア](#)
[\[04/15-04/29\]](#)

[・機材・技術・雑記](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.04.22 | [ホームリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

[遅いながらもーツ等](#) > 2012年04月アーカイブ

12.04.21

だいぶん楽に・・・

[Tweet](#)

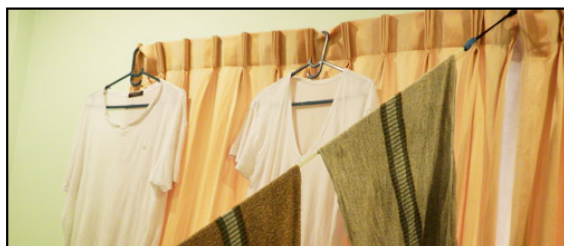
[Check](#)

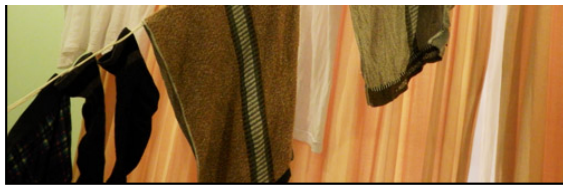
昨日の定時連絡のあと、引率の富田先生がパンと水を買ってきてくださり、熱冷まし(ロキソニン60mg)も差し入れていただいたので睡眠をたっぷり取ったところ、今朝にはすっかり熱も下がったようで体も楽になりました。

12時間たってこの状態なのでおそらく薬が切れても落ちると思います。

洗濯をする元気も出てきたので洗濯もしました。

海外に来てから約2日に1度の習慣みたいなものです。今回は久しぶりですが、洗濯していると何か儀式をしているような感じで妙に心が落ち着いてきます。





「安静にしましょう指令」も出ましたのでしばらくゆっくり体を休めたいと思います。
早く旅でもありませんね。

それにしても今日は外がとても暑い・・・と言うが音楽やら生演奏っぽいやらで寝るに寝れないんですが・・・^^;
正月のイベント的な何かでしょうかね。

カテゴリ: [\[04\]カンボジア](#)

[\[04/15-04/29\]](#)

[. . . 日記](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.04.21 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[新しいながらもーん亭 > 2012年04月 アーカイブ](#)

12.04.20

不良になりました。

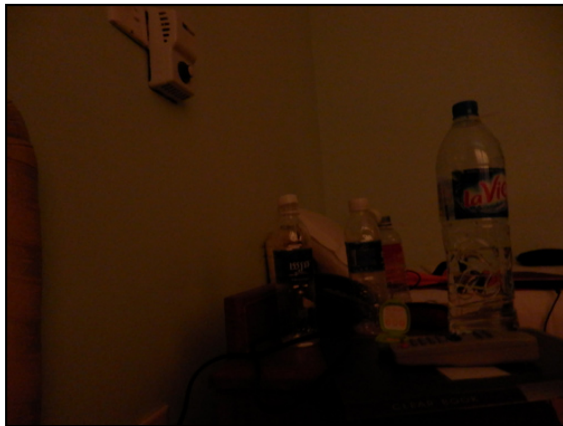
[Tweet](#)

[Check](#)

昨日のブログを更新した直後から頭痛・嘔吐・下痢・熱・全身の倦怠感に悩まされています。
体温計がないので正確な体温は分かりませんが、いつもの感じだと38℃～40℃程度ありそうです。
熱耐性はある方なのですが、徐々にかなり暑い状態になっています。
食べ物が当たったのかと思ったのですが、どうも違う感じがします。



水分をたくさん取って様子見をしていますがあまりに改善しないようであれば、病院行きも考えます。



カテゴリ: [\[04\]カンボジア](#)

[\[04/15-04/29\]](#)

[. . . 日記](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.04.20 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[新しいながらもーん亭 > 2012年04月 アーカイブ](#)

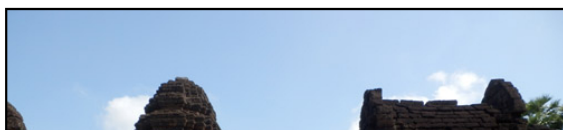
12.04.19

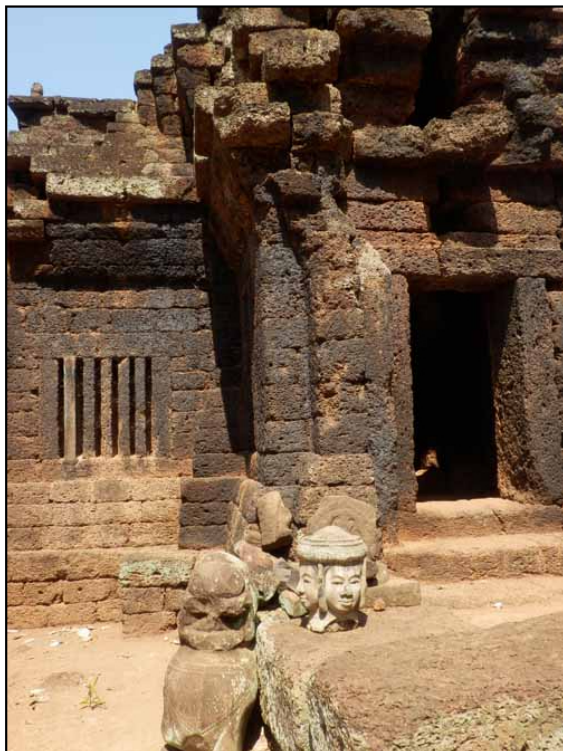
トンレサップ湖の二つの村

[Tweet](#)

[Check](#)

今日初めに訪れたのは、コンボンチャムから車で約2時間の距離にある、スーリヤヴァラマン1世が作ったクハノコー寺院です。
時代は11世紀になり、よく知られているアンコールワットはスーリヤヴァラマン2世が立てたものになります。





この遺跡はラテライトでできているそうです。遺跡が黒くなっているのもこの石が関係していて、石に鉄分が多く含まれているため雨によって溶け出てこのようになっているということでした。



昼食は今日もカンボジア料理。
右からナッツと豚肉と野菜の炒め物、野菜炒め、揚げ鶏肉と生菜の炒め物です。このお店の味付けも醤油ベースでとても食べやすかったです。

今日は移動に時間が掛かったのでここが今日最後に訪れた場所ですが、コンボンチャムからだらと車で4時間、シムリアップからだらと2時間の距離にあるトンレサップ湖に臨む二つの村です。
トンレサップ湖周辺には多くの漁村が点在しています。トンレサップ湖は雨季と乾期で水位が大きく変わりその沿岸線も変化するため村の形態が大きく二つに分かれています。

ひとつ目が、雨季と乾期で住む場所は同じで、住居の形態が高床になっている村。村全体の家がみな高床になっていて雨季にはボートを使って行き来をするそうです。



乾期のいまは普通の道があり自動車やバイクなどを使って行き来をしています。





女性が運んでいるのはボートの材料の木材で丈夫で、びったりの材料なのだそうです。



どこの家も床下には様々な漁具が保管してあります。

もうひとつが、雨季と乾季の変化する湖岸線に応じて住処を移動する村。
住居も先ほどの村と比べると移動しやすいように見えます。





漁具は外に置いてありました。



トンレサップ湖は非常に広大で乾期のこの時期でも向こう岸が見えないほどです。



以前跡ヶ浦の近くに住んでいたこともあり世界のほかの湖に興味があってトンレサップ湖の話は聞いたことがあったのですが、実際に目にすることができて感慨深いものがありました。

1ドルは4000リールのおつがへつといふこともしよつちやんといふ。
ほほどのお店も同じレートで、1USDル=4000リールとなっています。

写真展の後に行ったのが、カンボジア料理のお店で、味付けが日本人とても合う物でした。醤油ベースの物もあり、スープにしてもほかの物の味付けにしても旨味成分たっぷりという感覚です。



昼食後に行ったのが、コンボンチャムから車で30分ほどの距離にあるブノン・ハンチェイと言う山の方にある遺跡です（ブノンは山を、ハンチェイは關いに美くないと言う意味だそうです）。

名前の通り、山の方にあります。
そこからメコン川が一望できます。



川の真ん中にあるのは島（中州）でこの場所の川幅は約4キロ程あるようです。

この山の上のお寺にある遺跡がもっとも古い6世紀頃に作られた物になります。
この時代の遺跡はレンガで作られたもので、仏教ではなくヒンズー教の遺跡になります。



このレンガで造られたというのがヒンズー教の遺跡の特徴になるそうです。
ここにあるのはマイサンヴァラマン2世の作ったものだということです（マイサンというは北園のと言う意味）。



彫刻等の装飾もありその当時の美術の秀逸さに驚かされます。
▼ヴィシュナ神



▼水牛





▼壁の穴は内戦当時の弾痕だそうです。



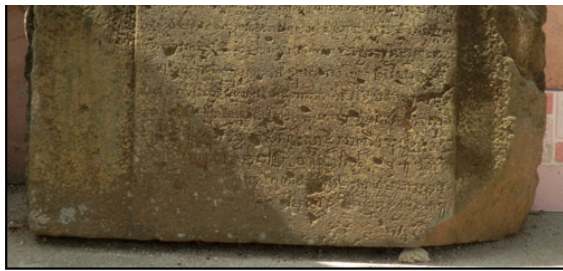
▼同じ敷地にある同時代の遺跡。



こちらの遺跡は現在でも多くのお祈りに来たり、お願い事をしに人々が訪れるそうです。

▼入口にはサンスクリット語の碑文もあります。





初めの方のレンガの増れた基礎だけになっている物も含めて、これらの遺跡は仙人の瞑想場所と呼ばれるもので、中にある祭壇のような石に聖水を流すなどしてお願いの儀式をする為に使ったものだと思います。

この寺は地元の人たちにとって公園のような憩いの場所となっていて、食事をしたりピクニックをしたり、子供たちが遊んだりと今日も多くの人で賑わっていました。



そこで多く売られているのが砂糖餅(サトウキビ)のジュース(2500リエル=約50円)、その場で圧搾機で絞って飲ませてくれます。



かなり必死に絞ってくれていました。





味は、自然な甘さでさっぱりとしておいしかったです。地元の人も多くの方が注文して飲んでいました。
カンボジアにはこのほかに砂糖椰子(サトウヤシ)も多く栽培されています。この砂糖椰子もまた違った甘さがするのだそうです。
余談ですが、砂糖椰子はカンボジアの農家の乾期の大事な収入源になる作物だそうです。多くの田んぼのまわりに植えられています。砂糖椰子を持たない農家の人はこの乾期には出稼ぎに出て行くのだそうです。稲作は主に雨季に行われます。乾期にも行われる場合もあるそうですが、雨季には栽培に6ヶ月かかるところ乾期は3ヶ月で収穫され、味も雨季のときとは全く違うものになるそうです。

ということで、今日の二つ目のブログエントリーは日本人の旅行者にはあまり知られていないというブノン・ハンチェイをお届けしました。

カテゴリ: [\[04\]カンボジア](#)
[\[04\]15-04\[29\]](#)

[+ 訪問記](#) [+ 食べ物写真](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.04.18 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[遅いながらもーん亭](#) > 2012年04月アーカイブ

海外個人写真展開催

[Tweet](#)

[Check](#)

昨日会場設置をしたトロビュアンコ小学校へ行ってきました。

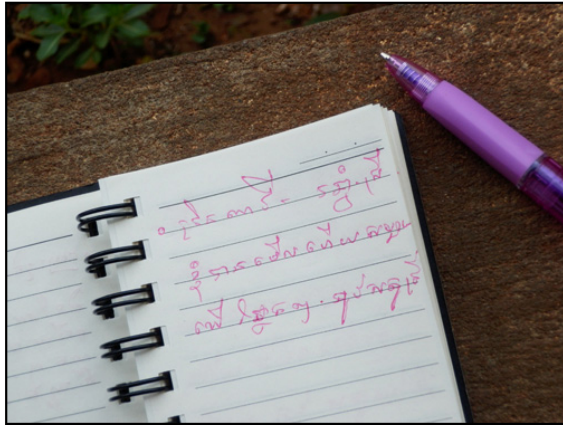
会場には村の大人の方のほか、一番見でもらいたかった子供たちも沢山来てくれました。





会場には芳名帳を置いて、お名前と感想を書いていただくようにしました。
子供たちはまだ字が書けないので、ガイドさんに、子供たちの感想を聞いて書いていただきました。





▼最後に村長さんも交えて記念写真です。



大半の大人の方は、訪問した日中は畑仕事でお忙しいとのことで、昨日の設営後にご覧になってくださったそうです。
写真はそのまましばらく学校に展示していただくことになりました。明後日にはカンボジア正月明けの授業が始まり、さらに多くの子供たちに見てもらえることになりそうです。タイミングの問題で私がいる時間には多くの村の方とはお会いできませんでしたが、当初の企画の目的は達成できたのでうれしいです。





カンボジアの伝統的の家屋が建ち並び、豊かな自然の中で子供たちも元気いっぱい遊びまわるトロピユアンコ村。
このような機会がなければこのような都市から離れた村の奥にたどり着くことはおろか、存在すら知ることは出来なかったと思います。
人生初の写真展をこのような素晴らしい場所で、しかも村の多くの人を訪れる小学校と言っぴたり場所で開催できたことは本当に良かったです。

私にとって、とても貴重な出会いと経験になりました。

カテゴリ: [04カンボジア](#)
[04/15-04/29](#)
、[1行旅](#)

post by 池田 善彦 | 日時: 2012.04.18 | [ホームリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[新しいながらもーツ堂](#) > 2012年04月アーカイブ

12.04.17

会場求めて...トロピユアンコ村へ。(ほか)

[Tweet](#)

[Check](#)

今日は写真展会場となる村へ行き会場探しと設営を行いました。
プノンペンから車で3時間、コンボンチャムから少し離れたトロピユアンコ村でその会場を探します。

その前にお昼ごはんです。



クメール系の味付けの料理で、村へ行く途中にあり、ドライブインの食堂のような雰囲気のお店でした。他のお客さんはバスで来たり乗り合いの車で来たり、とても賑わっていました。

お腹も満たされ、村へと向かいます。





村長さんをお願いして小学校を会場として使わせていただくことになりました。▼村長さん



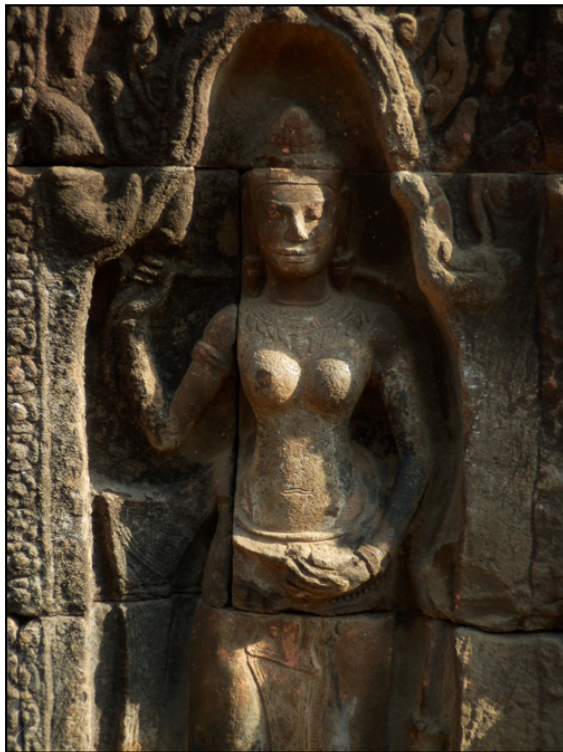
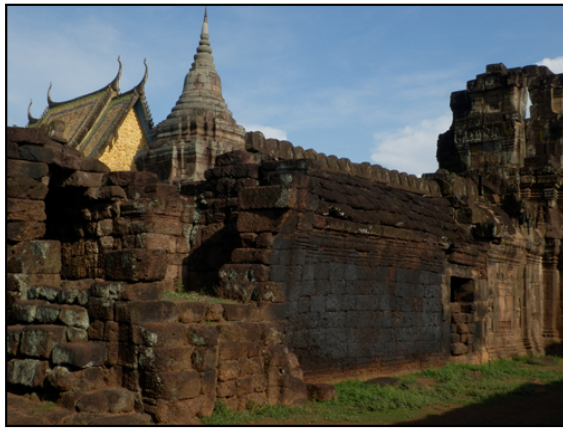
一時間半ほど掛けて日本から持ってきた作品を会場に展示し、明日の準備も整いました。同じく日本から用意してきた写真展のポストカードを村の方のお宅を回って配り、明日の告知もしてきました。



会場の小学校は日本の援助で立てられた学校で、その縁で日本の学生が展々、ホームステイに村に来るそうです。とてもどかな村で、子供たちも元気に駆け回って遊んでいます。

さて、明日はどれほどお客さんが来て下さるでしょうか。

村を後にして、訪れたのが「ワット・ノコール遺跡」と言う9世紀の遺跡で、ガイドさんの話ではもっとも古いものの一つと言うことです。





新しいお寺部分に古い遺跡部分があるなど、その組み合わせがなんとも不思議な空間を作っていました。



最近ちょっと食べ過ぎ気味ですね...

カテゴリ: [\[04\]カンボジア](#)
[\[04/15-04/29\]](#)
[-> 訪問記 - 食べ物等系](#)

post by: 池田 篤彦 | 日時: 2012.04.17 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[深い夜からmoonまで](#) > 2012年04月アーカイブ

12.04.16

プノンペン市内

[Tweet](#)

[Check](#)

今日はプノンペン市内にある主要施設を訪れました。

カンボジア王宮





カンボジアは立憲君主制でこの王宮には現在も王様が住んでいらっしゃいます。ガイドさんの話では、日本の天皇陛下と同じようなお仕事の内容だそうです。（直接政治には参加せず、首相任命や国家と会うなど。）

シルバーバゴダ（銀寺）



外国人からは銀寺と呼ばれていますが、カンボジア人はエメラルド寺と呼んでいるそうです。
外国人は床に銀のタイルが敷き詰められていることから、カンボジア人はエメラルドでできた仏像が祭られていることからこのような呼び方をしているそうです。

国立博物館





セントラルマーケットはカンボジア正月のためお休みでした。周囲の小さなお店が少しだけやっていました。





昼食はビュッフェ形式のお店へ。約100種類近い料理から自由に食べることができます。もちろんスイーツも。



トワールスレン強制収容所跡





クメールルージュ時代に強制収容所となっていたがもとは学校。教室を改造して作られた室内には抽屉や雑居屋が当時のまま残されており、拷問器具や当時の収容者およそ5000枚の写真展示、などもあります。

チュンエクの処刑場跡（キリングフィールド）





トールスレン強制収容所から運ばれた収容者はここで処刑されました。およそ20,000人いたという収容所で生き残ったのはわずか7人。その生き残りの一人の画家が描いた当時の収容所や処刑場の様子がトールスレン強制収容所跡やこの処刑場跡にも展示されています。

歴史の本やテレビ映像では見たことがあった収容所跡や処刑場跡ですが、実際にその現場に立って、実際に使われた物や遺骨を前にするととても多くの感情が湧いてきました。この場所に流れる空気と言うのが、ものすごく重いものを体にも感じました。

晩御飯は富田先生とちょっとオシャレなお店へ。ガイドブックにも載っている有名店ですが値段は手ごろです。



撮影のないカンボジアでは、同様に撮影のなかった韓国のように訪れたところについてお伝えしようと思います。

カテゴリ: [\[04\]カンボジア](#)
[\[04/15-04/29\]](#)
・ [訪問記](#) ・ [食べ物写真](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.04.16 | [バナーリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[遅いながらもーん車](#) > 2012年04月アーカイブ

12.04.15

メコンを越えて

[Tweet](#)

[Check](#)

今日はバスでのベトナムーカンボジアの国境移動でした。

朝8時30分ホーチミン発。約6時間かけてカンボジアのプノンベンへ移動しました。



メコンエクスプレスリムジンバスですが、車体のあちらこちらに日本で走っていた名残がありました。



ベトナム、カンボジアを車で走っていて気付くのが日本や韓国の名残がある車たち。大型の車両（バス、トラック、重機）に多く見つけられます。このバスもかつては日本のどんな場所を走っていたのでしょうか。

午前中に国境を超え、陸路国境越えの旅も終盤に入り、いよいよメコン川を船で渡ります。



自動車ごと台船に乗って向こう岸に渡ります。あっという間のメコン川クルーズです。



カンボジアに入り急に気候は真夏に突入です。学校指定泊ホテル内の日中の気温は30°C. ですので、外はおそらく36°Cくらいまでであると思われます。真に肉、肌で感じる暑さです。焼けつくという表現がしっくりきます。

私はカンボジアでのテーマ撮影がありませんので、カリキュラムの一端である「写真で社会貢献をする」を実施する予定です。暑さに体を慣らしたり、スクーリングや今後の撮影に向けて撮影済みの写真を見直したいと思っています。

もちろん骨休めもします☆

カテゴリ: [\[04\]カンボジア](#)
[\[04/15-04/29\]](#)
[・移動](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.04.15 | [ホームリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[新しいながらもーツ](#) > 2012年04月アーカイブ

12.04.14

国移動前

[Tweet](#)

[Check](#)

ベトナムとも間もなくお別れです。

例によって昨日の国内移動後の疲れでほぼ一日中寝て過ごしていました。(前日も撮影でしたと言いつつ。)

明日の国境越えも疲労が予想されるのでそれも見越して休養しました。

夕方になって富田先生と夕食を食べに出かけました。場所は先日まで富田先生が泊まっていたところの一階にあるレストランです。ベトナム最後の晩飯を味わいました。

▼豆腐ときこの鍋を締めめに食べました。出汁が濃厚で美味。



レストランに觀賞魚水博発見!!

中にいるのはおそらくブラティ(カラシン系)の仲間。熱帯魚です。久しぶりのナマゼカナです。



鯉魚と水樽と書けば、昨日までいたハイフォンには水樽屋がちらほらとありました。なぜなのかなと思っていたのですが、市場に行ったときに納得。港が近いので魚を生きのまま売っているのですが、みな個人の小さな売り子さんたちなので普通の鯉魚水樽に入れて売っていたんですね。

明日は陸路国境を超えてカンボジアへ向かいます。

カテゴリ: [\[03\]ベトナム](#)
[\[03/30-04/15\]](#)
[・日記](#) [・食べ物系](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.04.14 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[遅いながらもーん亭](#) > 2012年04月 アーカイブ

12.04.13

かっとび ました。

[Tweet](#)

[Check](#)

長らく滞在したハイフォンでしたが、いよいよお別れです。とはいっても、ハイフォンの街そのものはホテル滞在と食事をするために出かけた位なので詳しく見ることはできませんでした。ハノイやホーチミンとも違うのんびりとした空気が気に入ったのでまた来る機会があればゆっくりと見てみたいと思います。

ハイフォンにあるのがカットビ(Cat Bi)空港です。ホテル(ハイフォン駅)から車で15分(7km)ほどにあります。



日本にもある地方空港と言った感じで、小さな売店もあります。(そしてなぜか引き出し)



ホーチミンまで約1800kmの距離を2時間かけて飛行しました。ハノイからの電車でもそうでしたがベトナムの人たちは知らない人同士でもすぐに仲良くなるようで、隣り合った人同士、打ち解けている話しているようでした。印象的だったのが乗客らしき嗜好をしたひととオシャレな雰囲気若い女性の組み合わせ。乗客らしき人がしきりに話をして、それに女性が相槌を打っている様子でした。

集合地でのみんなで食事。個人的に一番インパクトがあったのがこれです。この魚とハーブなどの香辛料をライスペーパーで包んでいただきました。川魚なので少し小骨が多いですが、旨みがあってとてもおいしかったです。



カテゴリ: [\[02\]ベトナム](#)
[\[03/30-04/15\]](#)
・ [移動](#) ・ [食べ物写真](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.04.13 | [バナーリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(9\)](#)

[新しいながらもーン準](#) > 2012年04月アーカイブ

12.04.12

マオケ(Mao Khe)撮影終了

[Tweet](#)

[Check](#)

昨日に続き日の出前に移動を開始し撮影してきました。

無事にはいきませんでした。ベトナムの撮影も終了です。
やはり想定や予想をして撮影地の撮影場所も選定していますが、現場に来ると予想と違う状況があるというのは台湾に続いて同じです。
とはいえ、現場が違う状況というのはまああることなのでそこからどのように展開するか大切になってきます。と、頭では分かっているのですが実際はなかなか大変です・・・。



撮影の期間中往復2時間の運転と待ち時間4~5時間をこなして下さったドライバーの Tuan さんと記念に一枚。

夕食は肉系の麺料理を出してくれる行きつけになったお店へ。
少年にも顔を覚えてもらって、いつもはおはさんが作ってくれますが、今日の晩御飯を作ってもらいました。



会事におもむろに少年が来て「オキナワ」と言うので「トウキョー」だよ、と教えてあげました。
日本と言って初めて浮かぶ場所の名前を「沖縄」と言うあたりがやはりベトナムなのかなと痛感しました。
(少年が沖縄と言ったのはただ知ってて言っただけで、私の思い込みかもしれませんが、私の頭の中ではとっさに北緯-米軍-沖縄基地という言葉が浮かんできました。)
お祖母さんもいるようでしたので、ひよっとすると口伝で当時の話を聞いているのかもし

れません。



今日もおいしく頂きました☆

残すは国別レポートです。この国別レポートは撮影の状況や滞在中のトラブル、フィールドワーク中に起きた疑問などを項目ごとにまとめるものになっています。私たちのフィールドワークの様子をお伝えする先生方とのカウンセリングシートのようなものです。

このようなきの細かなレポートがあってフィールドワークが盛り立っています。

カテゴリ: [\[03\]ベトナム](#)
[\[03/30-04/15\]](#)
[・撮影](#)・[雑記](#)・[食べ物写真](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.04.12 | [バナーリンク](#) | [コメント\(6\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[遅いながらもーニング](#) > 2012年04月 アーカイブ

12.04.11

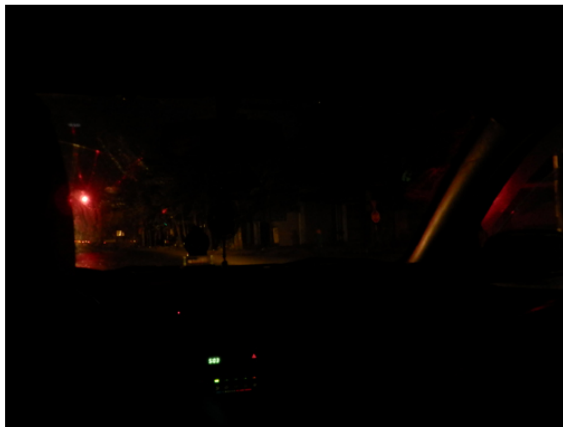
■ 早朝撮影

[Tweet](#)

[Check](#)

ベトナム撮影も残すところあと2日。遅いものです。運ずきです。

ということで、夜明け前に移動を開始し撮影地へ。ベトナムの朝は早いと聞いていましたが、暗に違わず・・・暗いにもかかわらず、道端には散歩のおじちゃんやバイクの若者。道端はロングビークルのトレーラーでいっぱいです。



撮影地に着いたら、ドライバーからうれしい差し入れ。





ベトナム版レッドブルです。

以前歩いて来たところからさらにすすんでみたところ、木の邪魔がない開けた場所を発見。



このあと少しヒヤッとすることが。どうやらこの場所は炭鉱の会社の敷地らしく（民家から続く道でゲートも何もありませんが）バイクで来た関係者に質問されることに……。と言っても英語も通じないため身振り手振りで事情説明。最期は帰っていいよと言われましたが、危うく警察沙汰に（それっぽい身振りがあったのでひやひやしました）。このくらいは大したことではありませんが、いろいろありますね。

日本にいる専門家のご指導で体の疲れを取る方法やいろいろな体のいらぬものを出す方法など、体のメンテナンスの方法も変わったので、今後のフィールドワークで毎日実践したいと思います。疲れやすさもきっと改善するはずです。心身ともに鍛えて目指すはアラジンのような健康小売色の細マッチョ!?（すみません、身内ネタです。）

明日はいよいよ撮影最終日です。気を抜かずに最後までしっかりやっています!

カテゴリ: [\[03\]ベトナム](#)

[\[03/30-04/15\]](#)

[・撮影](#) [・食べ物等](#)

post by [池田 篤彦](#) | 日時: 2012.04.11 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[深いながらもーん生](#) > 2012年04月 アーカイブ

12.04.10

パン屋の旦那

[Tweet](#)

[Check](#)



いくら考えても仕方がない、時間が経つことによってしか解決しない事柄も多いと感じています。

というよりも、短い人生経験の中ですが自分の中では、そういうことが実はかなりの部分なのではないかと、半ば答えとして出ています。



明日は早朝に撮影に行くということで朝食用のパンを買いに外に出ました。

おやつ時のこの時間はいつものおばさんではなく、おじさんが店番をしていました。全部買い終わって去り際おじさんが『シェーシェ』と言ったことから会話が弾みます。

「わたしはニャット」

『ニャットパン？ 英語はしゃべれる？』

「少しですが。」

『ここへは仕事で？』

「いえ、学生なんです。写真を撮りに、マオケへ、あそこは炭疽の街ですよ。」

『ああ、マオケね。知ってるよ。ハイフォンへはなんで？』

「ここから、マオケへ通ってるんです。」

『へえ、そうなんだ。ハイフォンは何日くらいいるの？』

「約二週間。でも後三日くらいです。」

『二週間も？ 一人で？』

「ええ、でも他の生徒は、ハノイとかホーチミンとか他の街にいてそれぞれ写真撮ってるんです。」

『そうなんだ。ホテルはどこに泊まってるの？』

「ホアンハイです。」

『すぐ近くじゃん。またあしても来てくれるかな？』

「いいともー。ではまた。」

『バイバイー。』

意外なところで英語を話せる人にあって少しほっこりした気持ちになりました。

旅人と住人。英語だけでなく現地の言葉をも少し理解することができれば、それまでとは違った人々の息遣いのようなものを感じることができるのだと思います。いまは音声としてしか認識できない会話も。

私は本が好きで種類を問わず色々読むのですが、その中のライトノベルというなかに分けられている『狼と番傘科（文倉潤彰）』という小説を思い出していました。

商人と女性を助けた狼神が商売をしながら街から街へと旅をするお話で、その旅の中で主人公は商人という性から色々な出来事に巻き込まれたり、様々な人々と巡り合い関わっていきます。様々な困難や危機を経験し、出会う色々な考え方をする人の影響を受けて、自分自身も次第にそれまでと違う物事の見方や考え方をするようになっていくことに気付きます（お話はこれだけではありません。かなりの要素を端折りました。詳しくは原本をお読みください。私の好きな小説のひとつです）。

中世のドイツがモデルのこの小説の旅と現代の私たちの旅では、その環境も状況も全く違いますが、同じ旅の空で見知らぬ出来事・人々と出会い、経験していく姿を今の自分に重ねて思い出していました。

取り留めのない内容になってしまいましたが、明日は撮影へ行って参ります。

カテゴリ: [03](#) | [ベストナム](#)
[03/30-04/15](#)
[・](#) [雑記](#) [・](#) [食べ物写真](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.04.10 | [バナーリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[新しいながらもーん準](#) > 2012年04月 アーカイブ

12.04.09

ヴァックシーン2

[Tweet](#)

[Check](#)

朝から2回目の狂犬病ワクチン接種に行ってきました。ホテルから徒歩3分でした。本当に近い。
先客がいましたがすぐに終わり、女医さんのアイコンタクト。ワクチンを溶液で溶かして、注射、フィニッシュ。
あっという間です。
最前へまた一歩近づきました。
診療室の作業台をよく見ると、いろいろなワクチンの空箱が山のように。先日はなかったはず。
1日に相当多くの患者さんが来て注射を受けていくんだなと気付きました。

接種後はやはり、疲れもあるでしょうが、だるくなりホテルでゆっくりしていました。
なかなか・・・。

▼ホテル7F自室からの風景





夕方になり、最近お気に入りの地元のパン＆ケーキのお店へ出かけました。
パン1個が5000ドン（20円）とリーズナブルで、おばちゃんにも顔を覚えられました。



だるさが抜けないため明日も撮影はせず（心苦しいですが）静養します。
ベトナムの残り日数は少ないですが、頑張りたいと思います。

カテゴリ: [\[03\]ベトナム](#)

[\[03/30-04/15\]](#)

[日記](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.04.09 | [バーマリンク](#) | [コメント\(4\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[深い夜からもーっ率](#) > 2012年04月アーカイブ

12.04.08

恐怖症

[Tweet](#)

[Check](#)

今日は、マオケの街を歩いていた。先日のワンコストリートに続くあたりです。
マオケの駅の大通り側ではない方が麓山に続くところなのですが、小さな商店や市場などが途中で並び人情味があふれるという雰囲気のところでした。

今日は本当によく話しかけられて、そのうちこちらからもずれ違いながら挨拶して話をしたりと人に対する恐怖症はほとんどなくなりました。運行おじさんおばさんも気さくな感じで、

「何撮ってるの」とか「一人？」とか「写真撮るならあっちの方行ってみるといいよ」とか、ベトナム語なのでほとんど分かりませんがジェスチャーと心で読み解きました。^^;

日焼けや顔が伸びてきたせいか、普通にベトナム語でずらざら話しかけられたりもしたのですが...

いよいよ地元民に溶け込んできた?と少しうれいような今日この頃です。
人によりませんが確かに、日本人といわれても違和感のない顔立ちの人たちもちらほら。

問題はやはりワンコです。あちこちに、紐にもつなげずにわらわらいます。しかも、警戒心もきだします。

さすがに、日が浅いので近づくのも勇気がいり、完全に犬恐怖症気味です。(@_@;) というよりも、ベトナムでは犬が本当に番犬として仕事をしているようです。しかも、大きくて犬というよりも狼に近い犬種の犬ばかり。

いくつか場所を探して歩いてみたのですがちょっとギブアップです。





最後は地元の中年生くらいの子供たちの集団にキャッキヤ言われながら、ベトナム語であ
いさつしたら
「ベトナム人!?」
「いや違うよ、ゴイニヤット（日本人）だよ」というやり取りをしつつ最後はジャバノコ
ールに。
大人も子供もここの人たちは本当に気さくだなと思いつつ旅の楽しみを突感してしまし
た。

肝心の撮影は...

カテゴリ: [\[03\]ベトナム](#)
[\[03/30-04/15\]](#)
[・撮影](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.04.08 | [ホームリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[遅いながらもーツキ](#) > 2012年04月アーカイブ

12.04.07

撮影ふたたび

[Tweet](#)

[Check](#)

ワンコがブரி事件から2日。受ける動物たちに噛まれたという心の傷も癒え(笑)再びマオ
ケへ撮影に行きました。
今回は先日歩いた道をドライバーにも教えて、Google Mapで運の名前と車も行けそうなこ
とを確認して、ワンコをスルーするようにして撮影地まで行きました。

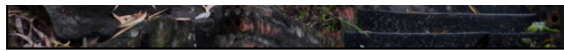


今度噛まれると肉体的にというよりは、大人の事情的にご迷惑がかかるので(=_=) 細心
の注意を払います。

撮影地目前で、いました。例のワンコです。

▼車の中でも手が震えてしまって(笑) こんなものしか撮れませんでした。大きさと迫
力は分かっていただけるかと思います。





今日は撮影場所的には一か所でしたが、初めのうちは大雨も降っていたので粘って撮影しました。

とはいえ、連続して撮影するのに持つ体力の限界は私の場合4-5時間のようなです。日数はあっても、体力的な面であっていただけよりも実際にはなかなかフルに撮影できるわけではありませんね。

カテゴリ: [\[03\]ベトナム](#)
[\[03/30-04/15\]](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.04.07 | [ホームリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[新しいながらもーニング](#) > 2012年04月 アーカイブ

12.04.06

休養日

[Tweet](#)

[Check](#)

昨日のワクチン接種の一件やら撮影やら移動やらで疲労がたまっていたので昨日に続き今日も撮影をせず休養しました。

肩の痛みや全身の倦怠感を感じており、日数もまだあることなので、無理せずホテルで睡眠をとっていました。

合い間に家の種たちをモニタリングして、動きを見ていたら調子が悪そうなので水換えと0.3%の塩浴を家人に指示しました。

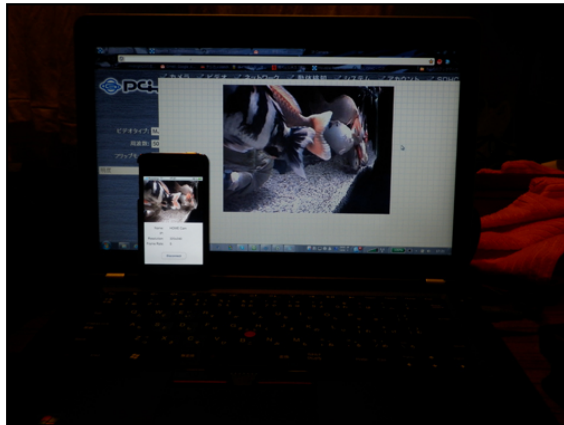
先日の台風並みの大風で気温が急に下がったこと、打って変わってここ数日、日が差し急に水温が上がったことで魚の体調が悪化したことで常在菌に抵抗が弱まったこと、季節の変わり目で濾過バクテリアが整っていないことなどが原因として考えられます。一つかもしれませんし全部が複合してそうなったのかもしれない。

症状を家人から聞くと、口腐れ・尾腐れ・水カビのような症状があるということなので、ひとまず0.3%の塩浴になるように、120センチ水槽に対し600gの塩を投入してもらいました。

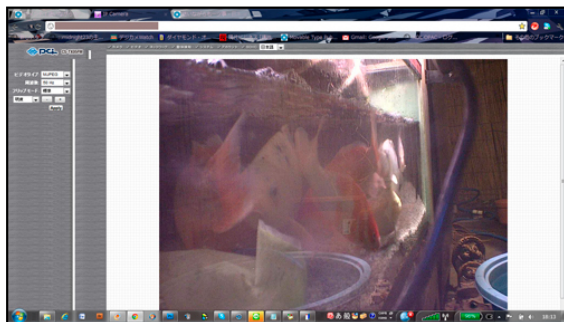
やはり微妙な変化は目視でないとなかなか発見が難しいです。目視で有れば魚体表面のツヤなどから水質の変化や体調の変化を感知することができますが、カメラではいくら解像度が良くなってもなかなか難しいものです。

できる対処法は限られているのでそれをやってみてもらって、様子見をすることにしました。

▼PCホームページ上とiphoneアプリ上両方からモニタリング可能です。



▼水換え中の水槽のホームページ映像をプリントスクリーンで画像取り込みしたもの。



最大1280×1024の画質で表示可能。

ということで、今回はアジアと全く関係ない内容でしたが半年も家をあげるとなるベットの環境も様々変化するので家人の負担をより少なくするためにも私の場合はウェブカメラを利用して見ます。

カテゴリ: [\[03\]ベトナム](#)
[\[03/30-04/15\]](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.04.06 | [ホームリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[新しいながらもーニング](#) > 2012年04月 アーカイブ

12.04.05

やっぱりアジアだもの・・・

[Tweet](#)

[Check](#)

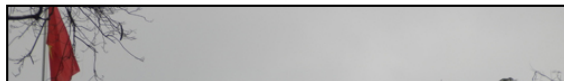
昨日ワンコにかまれたお話を書きましたが、朝一で病院へ行ってきました。

そこまたアジアだもの。

昨日聞いた人には明日朝来れば誰かが教えてくれると言っていたので行ってみると、ここでは受けられないという話・・・。大きな病院なのに・・・。

隣にあるインターナショナルの診療所の昨日とは違う看護婦に事情を説明してきてみると、状況が分かったらしく、ベトナム語で「Le Dai Hainh (通りの名前)の病院で狂犬病のワクチンを接種したい」という旨の文章を書いてくれ、そのままタクシーの運転手にも伝えてくれて、無事に摂取できる病院にたどり着きました。

書いてみるとそこはホテルからさらに近くにある、広場の目の前の病院でした。▼広場





▼一見病院には見えませんが



診療時間がまだで、小三十分待つことに。

▼いくつかの棟に分かれていて、接種ができる専門の場所はコロナ禍の建物でした。

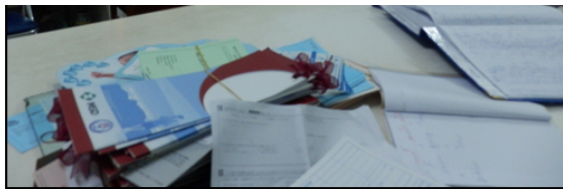


▼診療室入口。接種の種類ごとの料金が書いてあると思われる掲示ほか。

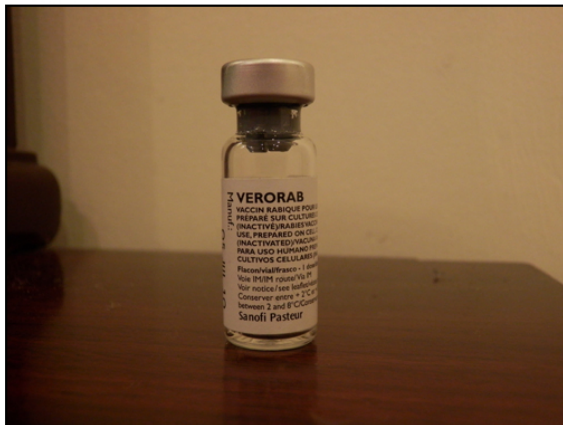
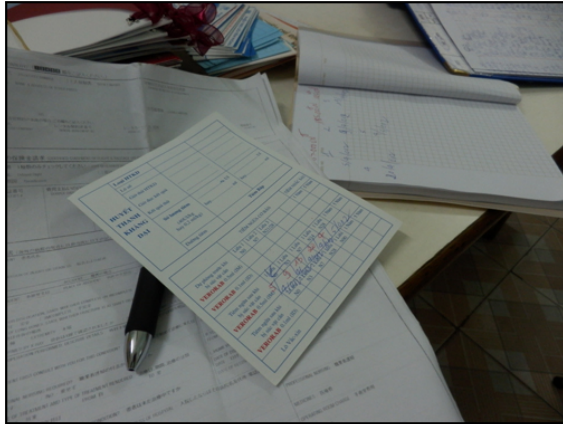


▼日本にもありそうな診察室。





▼接種のカードを書いてもらい、今後の接種（今日入れて5回）の日程の説明を受けました。ホーチミンに移動してしまうのでハイフォンでは後一回しか受けられないため、日本でも2回接種を受けているので今後の接種はまた考える必要があります。



接種後のアンプルも渡していただいたので、ロットなどもわかります。

料金は一回の接種が185000ドン=740円

いきなり地方の病院にかかるのはそこそこハードルがありましたが、人によって対応が違ったり、アジアだなと思う反面、人情味あふれる親切な対応にも触れることができ本当になかなかできない体験をした気がします。

加えて痛感したのは、英語の重要性です。ほとんどの人は英語が通じませんが、ホテルレセプションや今回のような一部の病院関係者は分かる人もいますので、簡単なフレーズや単語を知っているだけでも違います。逆に難しい単語やフレーズはほとんど役に立ちません。そして、発音の違いでお互いに認識できないこともあるので、口頭で伝えるのと同時に英語の文章で書いて見せた方がより確かに伝わると思います。

引率の富田先生、東京の学校関係者の方々には引き続きご心配をおかけしてしましますがいまのところ元気です。

カテゴリ: [\[03\]×トナム](#)

[\[03/30-04/13\]](#)

・ [機材](#) ・ [技術](#) ・ [雑記](#)

post by [池田 篤彦](#) | 日時: 2012.04.05 | [バナーリンク](#) | [コメント \(6\)](#) | [トラックバック \(9\)](#)

[新しいながらもーん堂](#) > 2012年04月アーカイブ

12.04.04

アジアだもの・・・

[Tweet](#)

[Check](#)

今日の撮影は昨日の場所を高くから見下ろせる場所、山側の場所に行って撮影しました。





日本にいる間の事前調査であたりはつけていましたが、昨日現場を見て細かな迷いの状況など、現場を見なくてわからないところをホテルに帰ってからさらにGoogle mapで確認したり書きました。

狙い通りと思いきや木が沢山……。現場に来なくては分からない発見もあります。現地の人たちにも慣れて、向けられる視線にも慣れてきました。そんなところで落とし穴……。撮影地からの帰り道、固まっているのが、歩いていたら吠えられてワゴンにガブリ。脚の上からでしたが血も……。

「このバカ犬!!」と葉キヤラクターの……みたいに罵りたくなりましたがそこはアジア。何が起るか本当に分りません。

注意して足早に過ぎようとしたのですがお気に召さなかったようです。ブログをご覧のみなさまもお行儀のよろしくないワゴンにはくれぐれもご注意を。(何が怖いかというと、狂犬病です。発症すれば死亡率100%。治療法はないので薬で運らせるほかないとのこと。噛んだワゴンが狂犬病かどうか……。そんな風には見えませんがそれは運次第です。)

ホテルに戻ってから近くの病院へ行きましたが、あいにく診察終了。ハノイの提携病院へは車でもかなりかかってしまう上、そもそも時間でダメなため、明日近くの病院の方に頼んで狂犬病ワクチンの注射受けに行ってきます☆

カテゴリ: [\[03\]ベトナム](#)

[\[03/20-04/13\]](#)

[・撮影・雑記](#)

post by 池田 基彦 | 日時: 2012.04.04 | [ホームリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[新しいながらもニーズ](#) > 2012年04月アーカイブ

12.04.03

撮影初日 (ベトナム)

[Tweet](#)

[Check](#)

ホテルのしせぷションの若手スタッフが強そうな女性にも、朝金のコンシェルで英語が話せる年代くらいの女性にも、マオケに行って何か面白いものがあるのだが、歩いてどうするのとか、完全に変な日本人だなという目で見られることもなんのその。

昨日ホテルに手配をしてもらったタクシーに乗って撮影地に行きました。

ホテルに来たドライバーの車を見ると……ん？タクシーじゃなくて普通の車？白タカが！と思いきや



フロントガラスに自動車ナンバー入りの許可証がありました。一安心。約一時間でマオケ (Mao Khe) 駅に到着。ここからは自分の足で探しまわります。



現場に行くと思っていたことと違うのは毎度のことです。現地の人から声をかけられて、びっくりしましたが、それがきっかけで別人から道を教えてもらったり、言葉が通じないながら身振り手振りで伝えたり。親切なおじさんがベトナム語で道を尋ねる文章を書いてくれたり...
最低限の警備は必要ですが、少しずつではありますが、アジアの空気に慣れてこられた感じがします。
全く関係のない話ですが、関東地方はすごい雨と風の様子ですね。東京は帰宅勧告もでたとのこと。自宅のウェブカメラを見ながら写る雨粒とカメラの揺れで非常さを実感しつつ、ウェブというツールの場所性のなさも実感しています。

カテゴリ: [\[03\]ベトナム](#)
[\[03/20-04/13\]](#)
・ [撮影](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.04.03 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[新しいながらもニッポン](#) > 2012年04月 アーカイブ

12.04.02

休養したけれど...

[Tweet](#)

[Check](#)

今日は案の定疲れが出て、肩の痛みやだるさを感じたので朝食もおとなしく休んでいました。

自分の想像以上に自分が疲れやすい体質だということも分かり、頭痛はたぶん目から来るのだと思いますが、環境が変わると慣れるのにも時間が必要なようです。
夕方、ホテルのレセプションにタクシーの手配とトータルの値段(往復運賃と運転手の待ち時間分)を聞いてもらって、支払いも戻ってきてからホテルに払うので良いという条件で手配してもらいました。(往復約100kmとのトータルで900ドン=3600円。これを高いと考えるかどうかですが。)

そのまま、水を買いにがてら夕食を食べに出ました。



あまり下を通りたくない...

▼今日の夕食





よくわからないままMIEN NUOCというものを注文。(帰ってきて調べたら春雨スープのこと。)
 春雨とかニ、番車が沢山入っていて、海鮮系のだしがとてもおいしかったです。今回も当たりだったと思います。
 自室に戻ってから時間があって、シャワーでは疲れが取れないから湯舟に浸かった方がいいと遂に日本からおすめのをされ、かなり久しぶりに湯舟でゆっくりもしました。
 疲れはまだ感じますが、先に角明日は撮影に行ってくださいと思います。

カテゴリ: [\[03\]×トナム](#)
[\[03/30-04/15\]](#)
[・日記](#) [・食べ物写真](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.04.02 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[近いながらもーニング](#) > 2012年04月 アーカイブ

12.04.01

ミスハノイ

[Tweet](#)

[Check](#)

今日はハノイからハイフォンへの移動をしました。昨日調べて万全、だったはずでしたが...
 少し迷ってハノイB駅に到着。時刻8時半。ハノイB駅の職員に切符を見せて列車はどこかと尋ねると...
 Mr.「Long Bien駅はここじゃないよ。」
 I「え!」「(昨日切符まで見せて受け取った地図は一体...)。場所良く分からないんですけど」
 Mr.「(地図を見ながら)ここだよ。ここから3km位」
 I「うわー。わかりました。え...」
 Mr.「(時計見ながら)大丈夫いけるよ。」
 こんなやり取りの後、とりあえずその辺でタクシーを拾うよりも指定泊ホテルで呼んでもらった方が安心なので、もどろろと決心し、戻ることに。今度は迷うことなく戻り、すぐにタクシーを呼んでもらうと...1分もしないうちにタクシー到着!!
 急いで、乗り込んでロンビエン駅へ向かうことに。飛ばしてくれて到着15分前に到着。そこで焦った私は痛恨のミス...
 電車に乗って後から気付いたのですが、単位を間違えて余分に払ってしまいました。とはいっても余分は日本円では1,000円少しでしたが、電車に間に合って運転してくれたし、もう間違わないぞと思いつつ少し間々としながらハイフォン行き電車に乗ったのでした。

▼ランクがあったようですが、よくわからず買って木の椅子。



▼ハイフォンを目指します。



乗客が途中で入れ替わりながら、隣に座ったお孫ちゃん連れのおばあちゃんと仲良くなり、意外にはやく4時間が過ぎました。とはいっても、十数キロのカメラ機材を膝の上で抱えていたので、明日が怖いです...

▼到着して一斉に出口を目指す乗客。それにしても窓の格子。





ハイフォンを少し歩いた感じでは、オシャレな服飾・装身具のお店が多い用に見えました。

今日は（も）、移動のときの精神的な余裕がなさ過ぎて疲労しました・・・。
反省もありながら、迷いながらも今日も元気に過ごせました。

カテゴリ: [\[03\]xトナム](#)
[\[03/30-04/15\]](#)
・移動

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.04.01 | [バーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)